

## X カットバトル【サロンスタイル】

**課題：** サロンワークで提供できるグラデーションボブのダウンスタイルで、カットの基本的なテクニックとデザインの良さを競うものである。  
※事前カット及びカラーは禁止する。ただし、ブリーチのみ可。

**出場資格：** 愛知県内の美容組合員及び従業員(保健所への従業員の届け出がしてあること)、非組合員。美容師免許の有無は問わないが、第 54 回全日本美容技術選手権大会への出場権利は、令和 8 年 10 月 6 日時点で美容師免許取得後 5 年以内(美容師免許登録日より起算)の者とする。  
※出場申込者は美容所に所属し、且つ美容業に従事していること。

**競技時間：** 30 分

**競技に関する制限及び禁止事項** (違反した場合は、減点もしくは失格となることがあります。)

- ①モデルウィッグは自由とし、各自持参することとするが、第 54 回全日本美容技術選手権大会へ出場時は指定するモデルウィッグ(全美連指定 ユーカリジャパン製 「カットウィッグ YJ/20-386」)を使用して行う。
- ②選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの(色、柄は禁止)、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする(ミニスカートは禁止する。)。靴は、ヒールの低いものとする。
- ③競技中、選手同士又は観客と会話等をしてはならない。
- ④競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ⑤競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ⑥事前カットは一切認めない。
- ⑦カラーは禁止とし、ブリーチのみ施すことができる。
- ⑧モデルウィッグの髪は、事前にスタイリング(形付けのためのブロー及び整髪料、カーラー、ピン類がついている)がされていない。モデルウィッグの髪は控室で監視委員長が厳重に点検し、スタイリングがされているものは減点とし、監視委員長が完全に濡らす。
- ⑨モデルウィッグの髪は、競技ステージで完全に濡らし、オールバックにシェープした状態から始めなければならない。
- ⑩モデルウィッグへの印、ピン打ち等は禁止する。
- ⑪仕上がりヘアは、モデルウィッグの台座より下がってはいけない。
- ⑫競技時間内に使用する整髪料は自由とする。
- ⑬競技に必要なすべての用具の使用を認める。ただし、はさみ等の用具を収納する革製のケースの使用は禁止する。
- ⑭モデルウィッグへのメイクは自由とする。ただし、ラインストーン、ラメ、タトゥー(絵)等は禁止する。
- ⑮イヤリング、ピアス、ネックレス、ヘアアクセサリ等は禁止する。
- ⑯モデルウィッグに洋服は取り付けしてはならない。(首にスカーフを巻くことも禁止する。)
- ⑰競技終了後、作品にピンを残してはならない。
- ⑱競技終了後、選手はモデルウィッグに一切触れてはならない。
- ⑲競技終了後、モデルウィッグを指示された方向に向け、選手は、直ちに用具その他のものを持って退場しなければならない。
- ⑳万力(選手が持参し、目印等が付いていないもの)は、競技中機の指定された側に固定しておかなければならず、タオルを挟んで使用する場合は、美容あいちから提供されるタオルを使用しなければならない。
- ㉑電源は 1 人 1.3kW までとし、コンセントは 1 口用である。(2 口用コンセントは禁止する。)
- ㉒控室での電源の使用は禁止する。

[注]モデルウィッグ、ドライヤー等の消費電力(メーカー表記で確認)は、控室で、競技前に監視委員が厳重に点検を行う。